

子育て応援の取組について

- ① **子育て応援施設の整備状況について**
- ② **子育て応援の拠点となる道の駅の事例**

①子育て応援施設の整備状況について

○整備状況

対象道の駅	取組内容	2018年9月末 記者発表時	2018年度 (目標)	2018年度末 (実績)	【公表目標】 概ね3年以内 (2021年目標)
国が整備した道の駅 (全国269駅)	24時間利用可能なベビーコーナー	10%	13%	13%	100%
	妊婦向け屋根付き優先駐車スペース	9%	42%	43%	
	おむつのばら売り※	2%	50%	10%	
	施設情報の提供	一部の設備のみ設置情報を提供	100%	100%	—

※ おむつのばら売りについては、関係者の協力のもと実施していく

○取り組み事例

24時間利用可能なベビーコーナー
ふたついで(京都府)

授乳室



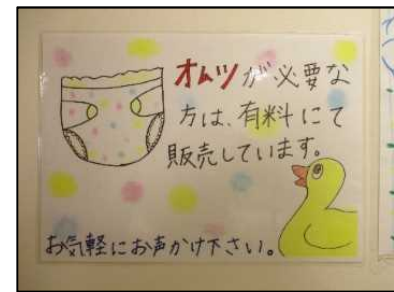
授乳室内におむつ交換スペースも設置

妊婦向け屋根付き優先駐車スペース
あらエッサ(島根県)



優先駐車の対象として妊婦を明示

おむつのばら売り
国見あつかしの郷(福島県)



おむつのばら売りの取組状況と課題

○道の駅「みつまた」(新潟県湯沢町)

- ・子育て世代から要望の声を踏まえ、令和元年7月より販売開始
- ・量販店で購入したおむつを個包装にしてばら売り対応



- ・250円/4枚
- ・3サイズ(S、M、L)を用意

○道の駅「きなんせ岩美」(鳥取県岩美町)

- ・子育て応援の個室型授乳室の設置とあわせて、道の駅内でおむつを販売

※隣接するコンビニエンスストアにておむつを販売



<おむつのばら売りを実施している「道の駅」からの声>

- ・ばら売りする為、量販店で購入したおむつを個包装にしてばら売り対応しているが、一旦スタッフの手に触れるため、清潔感の点で購入に至らない利用者がいる。
- ・メーカーによる個包装供給等の体制や販売方法への支援がないと、ばら売りすることが難しい。
- ・その他の商品に比べ、多くの需要が見込めないおむつの販売スペースを確保しづらい。
- ・ニーズを期待して、日常用品コーナーに陳列販売したが、期待したほど売れていない。
- ・24h対応とするには、専用の自販機販売等でないと、対応ができない。

おむつのばら売り(北海道開発局による取組)

○自販機によるおむつのばら売り

- ・北海道内の「道の駅」では、従前から、北海道開発局、北海道コカ・コーラ、市町村(道の駅設置者)の3者連携により、自販機を活用した「地域情報・道路情報等の提供」「非常時における自販機商品の無償提供」を実施
- ・3者連携の枠組みを活用し、子育て応援を推進するため、「子育て応援自販機」をR1.5から設置開始

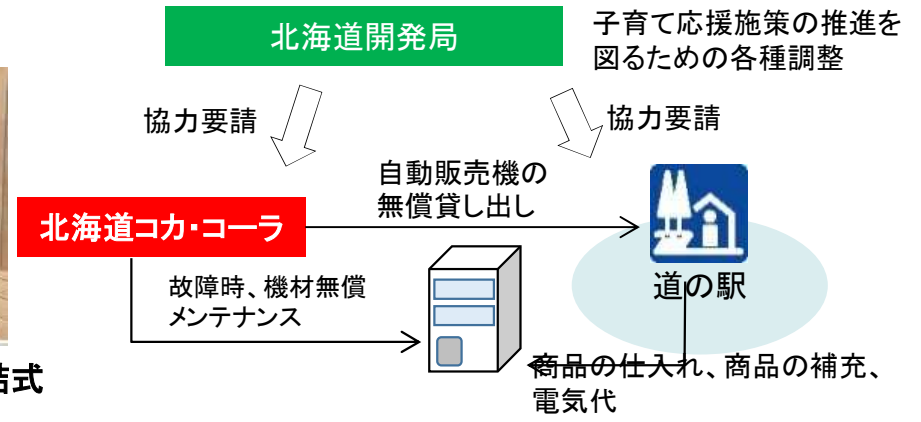


【子育て応援自販機】

<3者連携の枠組み>



子育て応援自販機 協定締結式



<今後の取組予定>

- ・今年度中に道内で、新たに3駅導入予定
- ・子育て世代が安心して休憩できる環境を整備するため、国が整備した「道の駅」を中心に導入に向けた協議を実施

液体ミルクの販売

○道の駅「北オホーツクはまとんべつ」 (北海道浜頓別町)

【取組：子育て応援グッズの自動販売機設置】

外出時の荷物を減らしたいという要望があったことから、24時間いつでも購入可能な子育て応援グッズの自動販売機を設置

【利用者の声】

- ・とても便利なので他の道の駅にも広がってほしいと思う。
- ・準備が簡単なので、外出時に液体ミルクを取り入れていきたい。



液体ミルクの販売状況



○道の駅「阿蘇」(熊本県阿蘇村)

【取組：乳児用液体ミルクの備蓄等】

断水により粉ミルクが使用できなかった熊本地震を踏まえ、今年4月から乳幼児用液体ミルクを備蓄し、7月20日より小売り販売も開始

【利用者の声】

- ・試しに飲ませてみると美味しそうに飲んだ。
- ・うちの子どもは少し温める必要があるが、とても便利。
- ・外出してても、すぐに飲ませることができて便利。



乳児用液体ミルク小売り販売状況

② 子育て応援の拠点となる「道の駅」(取組例)

- 「道の駅」内に、親子で自由に遊べる木製遊具のある広場(キッズルーム)を設置するとともに、未就学児の一時預かり、親子教室やサークル活動、子育て相談を実施し、地域の子育て世代を幅広く応援。
- 開業2年目余りで子育て応援施設の利用者は約7万人※。親子で安心して過ごせる施設として近隣町や県外からのリピーターも多く、ほとんどの利用客が食事や買い物も楽しんでいる。 ※令和元年8月末時点



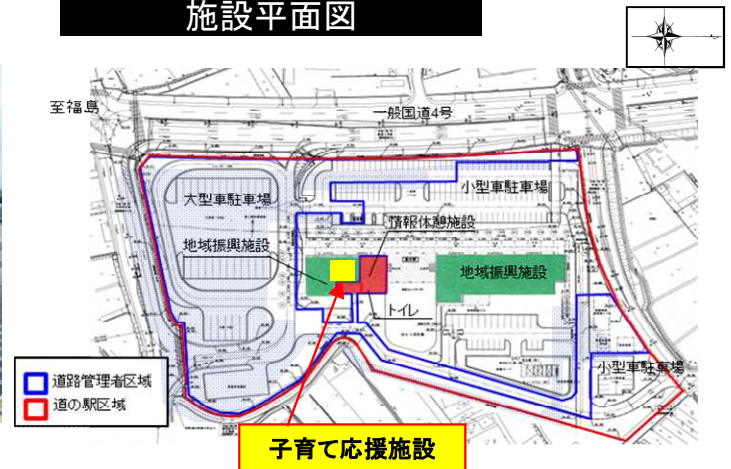
「国見 あつかしの郷」
(福島県国見町)
【平成29年5月 オープン】



施設全景



施設平面図



専門スタッフが見守り安心して遊べるキッズルーム



親子教室の後にはお茶会で情報交換やスタッフと気軽に相談



地域で活動している団体が講師役親子で楽しめる読み聞かせ会



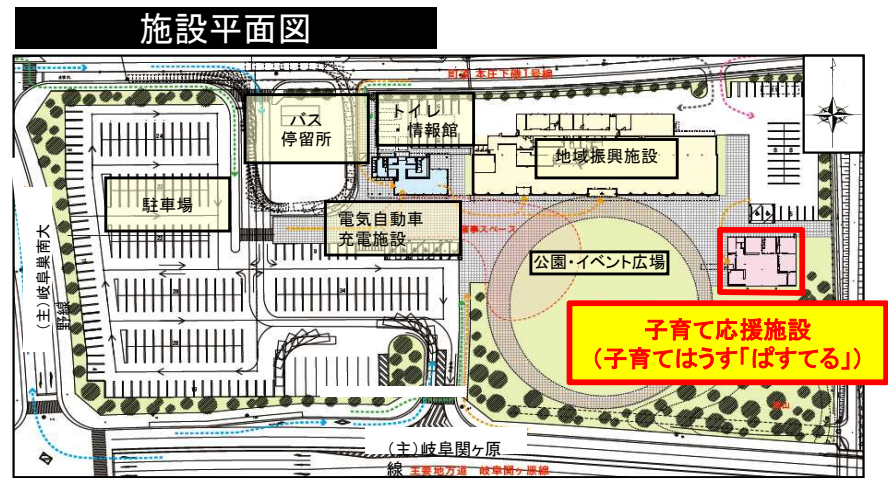
② 子育て応援の拠点となる「道の駅」(取組例)

- 「道の駅」内に子供が安心して遊べるキッズルームや図書ルームを整備するとともに、親子教室や子育てに関する相談・講習を実施し、地域の子育て世代を幅広く応援。
- 開業1年余りで子育て応援施設の利用者は約10万人※。木の遊具や玩具をふんだんに取り入れており、県内外問わず多くの方が利用。「朝から子育て応援施設で遊んだ後、地域振興施設でお昼ご飯や食材等の買い物をして、一日楽しむことができる」などの声もある。

※令和元年8月末時点



「パレットピアおおの」
(岐阜県大野町)
【平成30年7月 オープン】



子供が安心して遊べるキッズルーム



あかちゃんから小学生までを対象とする図書ルーム



親子教室の状況



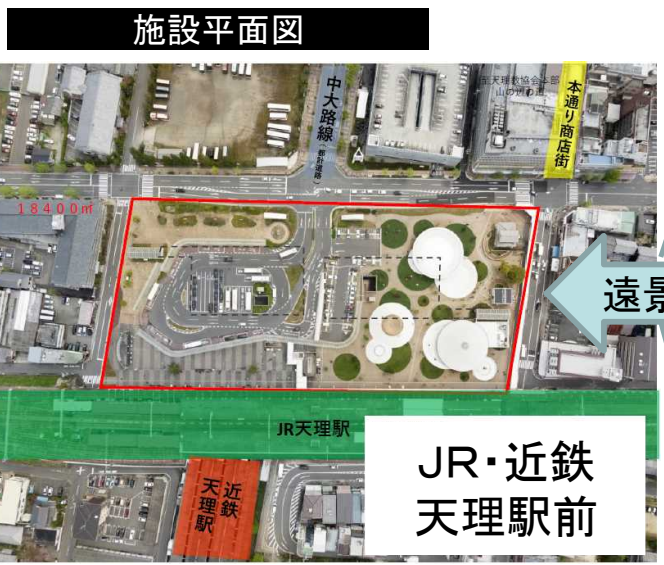
親子でのおやつ作り教室の状況



子育て応援に貢献する施設の例(参考:天理駅前広場コフン)

- JR・近鉄駅前の約6000m²の土地に、イベントや観光情報の発信、近隣住民の憩いの場として活用することによる周辺地域の活性化を目的に整備された駅前広場「コフン」。
- 子供から大人まで幅広く遊べる広場だけでなく、子育て応援として授乳室・おむつ交換台室、調乳機や離乳食用の電子レンジなども設置。

- ◇H29. 4 オープン
- ◇天理市、JR西日本、近鉄が管理協定を締結
- ◇H30年度集客数 :約3万人(イベント開催時)



絵本やおもちゃのあるキッズスペース



子供たちに大人気の巨大トランポリンと砂場



子供から大人まで遊べる多目的広場



写真:天理駅前広場コフンHP